

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		商品プロモーション支援				所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成 2 4 年度	[終了予定]	- 年度				
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	商品プロモーション支援事業助成金交付要綱						
	事業対象	主に製造業の区内中小企業								
	事業目的	製造事業者の販路拡大とデザイナーの区内定着								
	事業内容	区内に事業所を構えるデザイナーに、デザインを依頼して、製品パッケージ、印刷物(チラシ、カタログ)、販促物(バナー、ポスター)の制作を行う製造事業者に対し、デザイン委託費用の一部を助成する。 助成率 デザイナーに支払うデザイン委託費用(印刷費用は除く)の2分の1以内で、15万円を限度								
	委託の有無	なし	委託内容							
	補助金の有無	都								
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度			
	活動指標	相談件数	件	15	11	17	15			
	成果指標	製造事業者とデザイナーマッチング件数	件	10	8	9	10			
	決算額	(単位：千円)			1,192	1,215	1,072			
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			801	852	850			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,192	1,215	1,072			
		総経費			1,993	2,067	1,922			
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			595	607	536			
一般財源(区負担額)			597	608	1,386					
前回評価から改善した事項	ビジネスアドバイザー等による周知を充実させたため、利用実績が伸びている。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	区内には、台東デザイナーズビレッジを中心に、若いデザイナーや、クリエイターが集積しつつある。この集積が進みつつあるデザイナーを活用し、自社製品の魅力を向上させようという機運は、製造事業者の間でも少しずつであるが高まってきている。							
	効率性	3	都の助成金「創造的都市型産業創出助成事業」の対象となったため、24年度から26年度までの3年間は、事業費の負担の軽減を図りながら、製造事業者とデザイナーのコラボレーションを推進してこられた。							
	手段の適切性	3	デザイン委託費用の一部を支援することで、製造事業者が、デザイナーを活用するきっかけとなっている。他に類似の制度もないため、手段は適切である。							
	目的達成度	4	区内デザイナーを活用した、パッケージデザインなど事例も増えつつあり、成果目標値を達成することができている。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性			
産業振興プランにもとづき、24年度から始まった事業であり、本区に集積が進みつつある、クリエイターの力の活用の促進を図るものである。今後の需要も見込まれるため、維持とする。							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		